



日本のネットワークの伸びは 商用ネットワークの伸び?!

今月から JPNIC が公開するインターネットの統計情報の紹介、JPNIC からのお知らせなどをこのページを使って行います。

さて、JPNIC (Japan Network Information Center) は、日本におけるインターネットの IP アドレスやドメイン名の登録管理を中心業務とし、日本国内のネットワークを会員とする任意団体です。その運営のための資金は、(a) 会員ネットワークから支払われる会費収入と (b) IP アドレス・ドメイン名割り当てに伴う手数料収入の2つに大きく分けられます。(a) の部分、会費を支払う JPNIC の会員ネットワークについては、(1) 学術研究ネットワークと (2) 商用ネットワークの2種類があります。

JPNIC が発足した1993年4月1日の段階では、全10会員のうち9会員が学術ネットワークでした。しかし、1995年5月にほぼ半数ずつ (学術：商用=21：22) になってからは、商用ネットワーク会員の入会が急増してきました (図1)。

一方、「インターネット白書'96」にあ

る日本の商用プロバイダー一覧の営業開始日をプロットすると、やはり1995年7月ごろから急激にその数が増えています。まさに1995年はWWWの普及、阪神大震災における情報交換、そして商用プロバイダーの台頭に象徴されるように、日本のインターネットが急激に伸びてきた年といえるかもしれません。この商用プロバイダーですが、電気通信事業法的には電気通信事業者と呼ばれています (「ちょっと解説」)。商用プロバイダーでも特に一般二種といわれるプロバイダーの増加が飛躍的です (図2)。

今回は、やはりインターネットの急成長を示すデータの1つである、日本のホスト数についてサーベイする予定です。

参考文献：

- (1) 第一法規出版株式会社「情報通信六法 - 平成8年度版 -」 郵政省監修
- (2) インプレス社「インターネット白書'96」

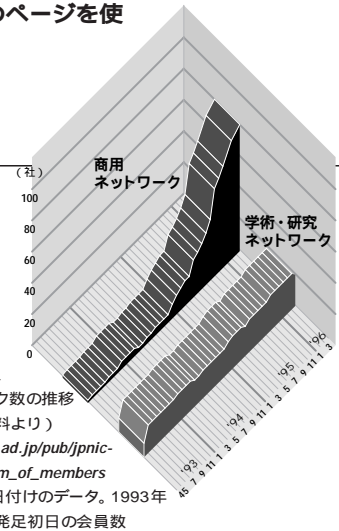


図1 JPNIC 会員ネットワーク数の推移 (JPNIC 資料より)
ftp://ftp.nic.ad.jp/pub/jpnic-pub/stat/num_of_members
注：各月1日付けのデータ。1993年4月1日は発足初日の会員数

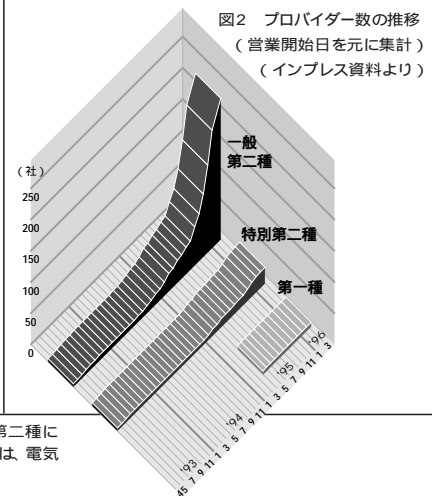
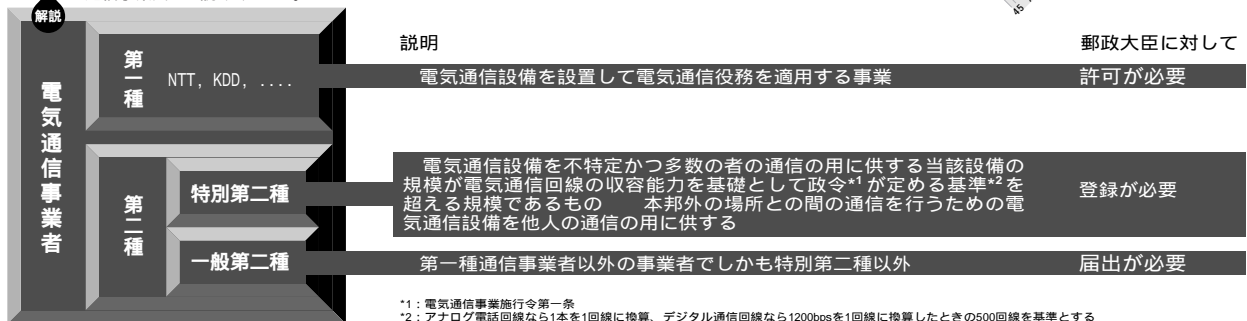


図2 プロバイダー数の推移 (営業開始日を元に集計) (インプレス資料より)

ち
ゆ
ん
解
説

「電気通信事業者」...電気通信事業者は、その事業の内容、規模などから第一種、特別第二種、一般第二種に分けられます。また、郵政大臣に対する手続きでもそれぞれ許可、登録、届け出など異なります。正しくは、電気通信事業法をお読みください。



*1：電気通信事業施行令第一條

*2：アナログ電話回線なら1本を1回線に換算、デジタル通信回線なら1200bpsを1回線に換算したときの500回線を基準とする